

決算報告書

(平成19年4月1日～平成20年3月31日)

(単位：千円)

区分	予算金額(A)	決算金額(B)	差額(A-B)	備考
収入				
運営費交付金	10,316,788	10,316,788	0	
施設整備費補助金	364,642	618,898	△ 254,256	
受託収入	1,404,080	1,778,428	△ 374,348	*4
諸収入	61,599	110,233	△ 48,634	
寄付金収入	-	20,200	△ 20,200	
前年度よりの繰越金	-	39,465	△ 39,465	*1
計	12,147,109	12,884,011	△ 736,902	
支出				
人件費	7,508,571	7,530,372	△ 21,801	*2
業務費	1,696,378	1,833,157	△ 136,779	*3
一般研究費	874,437	963,598	△ 89,161	
特別研究費	270,000	276,187	△ 6,187	
基盤事業費	15,867	18,376	△ 2,509	
育種事業費	536,074	574,995	△ 38,921	
一般管理費	1,173,438	1,033,110	140,328	
施設整備費	364,642	618,898	△ 254,256	
受託業務費	1,404,080	1,777,331	△ 373,251	*4
寄付金事業費	-	21,373	△ 21,373	
計	12,147,109	12,814,240	△ 667,131	

注：千円未満を四捨五入した関係で計が一致しないところがあります。

*1 前年度よりの繰越金については、平成18年度の運営費交付金残を計上してあります。

*2 人事院勧告に準じた職員給与規程改定による増額であります。

また、雑給及び福利厚生費は、業務費及び一般管理費に計上してあります。

*3 業務費の差額のほとんどは、年度計画において一般管理費とされているものの一部を実行予算上は業務費として分類しているためであります。

*4 受託収入の増加は、政府等以外受託研究等収入の増加によるものであります。また、受託業務費の差額の主な理由は、収入増見合による支出額であります。